【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成31年2月28日(2019.2.28)

【公表番号】特表2018-502123(P2018-502123A)
【公表日】平成30年1月25日(2018.1.25)
【年通号数】公開・登録公報2018-003
【出願番号】特願2017-536794(P2017-536794)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｋ　39/395　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　47/68　(2017.01)
Ａ６１Ｋ　47/61　(2017.01)
Ａ６１Ｐ　37/02　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　35/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　35/02　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　7/00　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/716　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｋ　39/395　Ｍ
Ａ６１Ｋ　47/68
Ａ６１Ｋ　47/61
Ａ６１Ｐ　37/02
Ａ６１Ｐ　35/00
Ａ６１Ｐ　35/02
Ａ６１Ｐ　7/00
Ａ６１Ｋ　31/716

【手続補正書】
【提出日】平成31年1月16日(2019.1.16)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
抗体に連結されたβ－１，６－グルカンを含む組成物であって、前記抗体はＴ制御性細胞の表面特徴に関するものである前記組成物。
【請求項２】
前記抗体がモノクローナル抗体、ヒト抗体、ヒト化抗体および抗体断片から選択される、請求項１に記載の組成物。
【請求項３】
前記β－１，６－グルカンが真菌グルカン由来またはプスツラン由来である、請求項１または２に記載の組成物。
【請求項４】
前記β－１，６－グルカンが化学合成または遺伝子操作される、請求項１または２に記載の組成物。
【請求項５】
前記β－１，６－グルカンが可溶性である、請求項１～４のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項６】
前記β－１，６－グルカンが、Ｏ－アセチル化、メチル化、アルキル化、エステル化、アルコリル化、硫酸化、リン酸化、脂質接合、およびそれらの組み合わせからなる群から選択される構造修飾を含んでいる、請求項１～５のいずれか一項に記載の組成物。
【請求項７】
前記β－１，６－グルカンが１００ｋＤａ未満の分子量を有する、請求項１～６のいずれか一項に記載の組成物。
【請求項８】
前記β－１，６－グルカンが８５未満または８５に等しいグルコース単糖単位を含む、請求項１～７のいずれか一項に記載の組成物。
【請求項９】
前記組成物中に含まれるグルカンの乾燥重量の少なくとも９０％がβ－１，６－グルカンである、請求項１～８のいずれか一項に記載の組成物。
【請求項１０】
前記組成物中に含まれるグルカンの乾燥重量の１０％未満がβ－１，３－グルカンである、請求項１～９のいずれか一項に記載の組成物。
【請求項１１】
前記β－１，６－グルカンは前記抗体に直接連結されている、請求項１～１０のいずれか一項に記載の組成物。
【請求項１２】
前記β－１，６－グルカンはリンカー分子を介して前記抗体に連結されている、請求項１～１０のいずれか一項に記載の組成物。
【請求項１３】
アンタゴニストの抗ＰＤ１抗体、アンタゴニストの抗ＣＴＬＡ－４抗体、アンタゴニストの抗ＴＩＭ－３抗体、アンタゴニストの抗ＬＡＧ－３抗体、アンタゴニストの抗ＩＣＯＳ抗体、アンタゴニストの抗ＴＩＧＩＴ抗体、アゴニストの抗ＧＩＴＲ抗体、例えば、ＭＫ－４１６６、アゴニストの抗ＯＸ－４０抗体、およびアゴニストの抗ＣＤ４０抗体から選択される抗体に連結されたβ－１，６－グルカンを含有する請求項１～１２のいずれか一項に記載の組成物。
【請求項１４】
前記抗体が、アンタゴニストの抗ＣＴＬＡ－４抗体である、請求項１３に記載の組成物。
【請求項１５】
癌の治療において使用するための、請求項１～１４のいずれか一項に記載の組成物。